

法人名	社会福祉法人ささゆり会
事業所名	小規模多機能ホーム サンライフ岡田

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年 9月 6日( 14:00 ~ 15:30 )
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	7名

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		8	5	2	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	7	6	1	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	10	2		15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7	5	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>新規利用者様の不安を取り除けるように、見守り、声掛けを行うことが出来ている。座席の配置を工夫したり、職員や他の利用者様との会話を促し、よい関係が築けるよう支援をおこなっている。</li> <li>フェイスシートやケアプランを見てから利用者様の支援が出来ている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>必要とされているサービスが、職員全員で出来ているか分からない。職員ノート、利用者様ノート、申し送り等で情報を共有するようにしているが、文面だけでは伝わりにくい事もある。また、送迎や訪問、入浴の介助などで申し送りに出られない職員も多い。また同様の理由で申し送りが出来ていないことがある。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>申し送りの回数を増やす。朝10:00にしているが、14:00にも行うようにし、利用者様の情報の共有ができ、職員全体で統一した介護が出来るようにしていく。</li> <li>利用者様や家族様から得た情報は、職員全体で共有していく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月 6日 ( 14:00 ~ 15:30 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		5	7	3	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		8	5	2	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		3	11	1	15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		4	8	3	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・～したいと言える利用者様には希望に添えるように援助が来ている。利用者様が～したいと言えない方に関しては家族様が希望されている支援をおこなうようにしている。 ・月1回の会議の場で、利用者様情報や家族様情報、職員間の情報共有が来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・全員分のケアプランの把握が出来ていない。読み込めていない。 ・利用者様の本当にしたいことが来ているのか分からない。意見を言える人を優先しがちになっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者様のプランはパソコンで見られるようになっているが、印刷しケースにも挟み、パソコンが苦手な職員でも見やすいようにする ・利用者様の目標、～したいの気持ちを会議や申し送りで検討し、職員間で共通の認識を持って支援をおこなっていく	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月 6日 ( 14:00 ~ 15:30 )

3. 日常生活の支援

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	10	4	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	12			15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		3	7	5	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	10	3		15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	6	7		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者様が自身で出来ることは自分でして頂き、出来ないことを手伝うようにしている。</li><li>・利用者様のその時の状況に合わせて、食事、入浴、排せつ等の介助が出来ている。上司や看護師、家族様と相談し対応できている</li><li>・体調の変化は申し送りなどで職員間の共有が出来ている</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・以前の暮らし方が把握できていない。特に送迎や訪問に行かない職員は住環境や家族様と接する機会がなく、利用者様の日常生活が想像しにくい</li><li>・利用者様の声にならない声をチームで言語化出来ているか分からない。申し送りに参加できなかつたり、申し送りの時間や回数が足りない</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・申し送りの回数を増やす。10:00の申し送りの他、全職員が参加しやすい14:00にも申し送りを行う</li><li>・利用者様や家族様との日々の関わりの中で知りえた情報は、すぐに職員連絡ノートや利用者様ノートに記入し、全職員が共有できるようにしていく。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月 6日 ( 14:00 ~ 15:30 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		7	7	1	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6	6	3	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	8	3	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			7	8	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者様や家族様との会話、家族様との連絡帳のやりとりで施設での過ごし方や、家庭での過ごし方を共有している</li> <li>契約時に家族様に今までの利用者様の生活史を記入していただくようにしており、人間関係や生活スタイルの把握に努めている</li> <li>管理者（ケアマネ）が地区ブロックのケアマネ研修会等に参加し、社会資源の把握に努めている</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての利用者様に出来ているわけではない。</li> <li>家族様でも利用者様の生活スタイルや人間関係が把握できていないことが多く、把握が難しい。</li> <li>コロナ禍ということもあり、地域の方と話す機会がない。地域の事がわからない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>独居や高齢者のみの世帯の利用者様が多いため、今までの生活スタイルが維持できるよう、自身で出来ることはして頂きながら、在宅での生活が維持できるよう支援をおこなっていく。</li> <li>利用者様や家族様との日々の関わりの中で知りえた情報は、すぐに職員連絡ノートや利用者様ノートに記入し、全職員が共有できるようにしていく。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月 6日 ( 14:00 ~ 15:30 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		4	7	4	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	10	1		15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	9	5		15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	11	2		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>ご家族様の相談があれば、利用日変更や、利用内容変更、送迎時間の変更など柔軟に対応している</li><li>夜勤日誌や、日勤日誌、利用者様ノートを活用し利用者様の変化に対応、情報の共有をおこなっている</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>家に帰れていない利用者様がいる。</li><li>利用者様の変化に気付けていても、それが記録に残っていないことがある</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>家に帰れていない利用者様には家族様に協力を求め、月に1回からでも帰れるようしていく。</li><li>変化への気付きは出来ていることが多いため、それを忘れずに日々の記録に入力していく。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月 6日 ( 14:00 ~ 15:30 )

6. 連携・協働

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		2	4	9	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	1	3	10	15
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?			3	12	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		1	3	11	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・会議には管理者・ケアマネ、相談員が参加している。その際、他職種、家族、民生委員等と意見交換が出来る	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ケアマネ、相談員等、一部の者しか会議に参加できていない。職員配置、現場状況から、複数人の職員が現場から抜けることが難しい。 ・コロナ禍であり、地域行事に参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・契約、担当者会議、運営推進会議などに、事業者職員も参加できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月 6日 ( 14:00 ~ 15:30 )

7. 運営

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		2	8	5	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		9	4	2	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	3	6	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?			5	10	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・月1回の会議で、職員の意見を言う機会がある</li><li>・苦情があれば、職員ノートやパソコンの事務連絡で報告、共有し、すぐに対策がとれている</li><li>・近隣の住宅に音が漏れないよう、西側の窓は開けないように徹底している。駐車場での話声が気になるとの意見があった際は、駐車場で私語をしないよう注意している</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・意見を言える機会の方が少ない。意見を言う職員が偏っている。意見を言いにくい職員でも言える場を作って欲しい。</li><li>・コロナ禍ということもあるが、地域との協働した取り組みは行えていない</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・介護ソフトの事務連絡で、管理者や相談員個人と文書のやり取りが出来るシステムがあるため、直接意見を記入してもらう</li><li>・匿名を希望する職員の事も考え、意見箱の設置を行い周知していく。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月 6日 ( 14:00 ~ 15:30 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	3	4	6	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	3	4	7	15
③	地域連絡会に参加していますか			2	13	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	4	6	4	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・法人で資格取得サポートを行っている (介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員等)</li><li>・法人全体の全体会議で、研修に行った職員の報告を共有している</li><li>・リスク委員会、事故報告書、ヒヤリハットノートなどでリスクマネジメントに取り組んでいる</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・ヒヤリハットの件数が少ない。ヒヤリに気付いていない可能性や、書き込み忘れの可能性もある</li><li>・一部職員のみ研修に参加できている。研修に参加する時間がない</li><li>・施設内での研修がほとんど行えていない</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・終業時間内に外部研修に参加できるようにする。</li><li>・常勤、非常勤を問わず、1年に1回は外部研修に参加できるよう計画していく。</li><li>・ヒヤリがあれば、ノートに記入するだけでなく、申し送りで共有する</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 9月 6日 ( 14:00 ~ 15:30 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	4			15
②	虐待は行われていない	12	2	1		15
③	プライバシーが守られている	11	3	1		15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1	2	10	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9	5	1		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>法人全体で、年に1回身体拘束や虐待、個人情報、感染症等のテストがあり、一定の点数以下なら再テストを行っている</li><li>虐待や身体拘束を行っていない</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>成年後見制度を利用されている方がいない。また知識も少ない。</li><li>言葉遣いが気になる。スピーチロックに気を付ける</li><li>利用者様の前で他の利用者様の話をしていることがある</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>成年後見制度についての研修を受ける</li><li>丁寧な言葉掛けを心がける</li><li>スピーチロックや私語がないよう、注意し合える環境を作る</li></ul>	

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 ささゆり会	代表者	笹山 周作	法人・ 事業所 の特徴	小規模多機能ホームサンライフ岡田は、法人の4つの基本理念（①基本的人権の尊重、②健全育成・援護の実現、③社会的自立の助長、④地域福祉への貢献）のもと、利用者様が住み慣れた地域で継続して生活できるよう、利用者様・家族様の支援をおこなっています。
事業所名	小規模多機能ホーム サンライフ岡田	管理者	中野 雄介		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・ 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	人	2人	1人	人	4人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認			1年経つにつれて出来ているところ、出来ていない所が見えてくると思います。仕事にもいい意味でも悪い意味でも慣れてくると思うので。	申し送りの回数を増やし、利用者様・家族様のニーズや情報を職員間で共有し、ケア内容が統一出来るようにしていく。
B. 事業所の しつらえ・環境			小規模多機能ホームの入り口が分かりにくい。デイサービスの入り口と間違えてしまう。	小規模多機能ホームの入り口が分かりやすいよう対策を行う。
C. 事業所と地域のかかわり			コロナ禍で地域の行事はほとんど中止になっている。施設の行事も外部の方は招いていない。	コロナ禍があけたら、地域行事への参加や、地域の方を招いた行事の開催を行っていく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み			施設の事が地域の方にあまり知られていない。	開設より1年が経過したが、地域の方にまだどういった施設かあまり知られていないので、施設の情報を発信していく。
E. 運営推進会議を 活かした取組み			施設の情報や、地域の情報の交換が出来ている。 どのようなことを話し合っているのか分かっていない職員が多い。	今まで決まった職員しか参加をしていなかったため、参加する職員を交代制にし、直に地域の方の思いを感じ取れるようにしていく。
F. 事業所の 防災・災害対策			いざという時に慌ててしまうと大変なので、訓練は大事だと思います。車いすの方や、認知症の方がいて大変だと思います。	火災（昼・夜）の訓練のほか、水害対策や不審者対策などにも力を入れていく。